

キリスト教教理入門

1. 神学をすること
 2. 神の啓示
 3. 神の性質
 4. 神のみわざ
 5. 人間
 6. 罪
 7. キリストの人格
 8. キリストのみわざ
 9. 聖霊
 10. 救い
 11. 教会
 12. 終末
-

第二部 神を知ること

「キリスト教神学」

- 8章 神の普遍的啓示
- 9章 神の特別啓示
- 10章 啓示の保存: 靈感
- 11章 神の言葉の信頼性: 無誤性
- 12章 神の言葉の力: 権威

『キリスト教教理入門』

- 3章 神の普遍的啓示
- 4章 神の特別啓示
- 5章 啓示の保存: 靈感
- 6章 神のことばの信頼性: 無誤性
- 7章 神のことばの力: 権威

第7章 神の言葉の力：権威

1. 宗教的権威
 2. 聖霊の内的働き
 3. 権威の客観的そして主観的要素
 4. 聖書と理性
 5. 歴史的そして規範的権威あるもの
-

第一節 宗教的權威

1. 權威とは—What?
 2. 信条・行為を規定する權威—Where?
-

第二節 聖霊の内的働き

1. 啓示と靈感と照明
2. 存在論的差異：創造者と被造物の関係
3. 神の事柄・人の永遠の運命—確かさ
4. 人類の罪深さに由来する制限
5. 「デコマイ」—歓迎し、受け入れる
6. 人間の知恵によってではなく
7. 心の覆いを取り除けられる
8. 一度きりのみわざと継続的な働き
9. 新しい啓示の追加ではなく

第二節 聖霊の内的働き

1. 啓示と靈感と照明
2. 存在論的差異：創造者と被造物の関係
3. 神の事柄・人の永遠の運命—確かさ
4. 人類の罪深さに由来する制限
5. 「デコマイ」—歓迎し、受け入れる
6. 人間の知恵によってではなく
7. 心の覆いを取り除けられる
8. 一度きりのみわざと継続的な働き
9. 新しい啓示の追加ではなく

第三節 権威の客観的・主観的要素

1. バーナード・ラムの「権威のパターン」
 2. 「一日一章、悪魔遠ざける」
 3. 権威ある聖書と聖霊の特別な働き
 4. 客観的基盤と主観的経験
-

第四節 聖書と理性

1. 聖書の権威と理性の関係
 2. 立法的権威と司法的権威
 3. 聖書と種々の解釈学
-

第五節 歴史的・規範的権威

1. 当時の人々を拘束するものと私たちを拘束するもの
 2. 一時的な形式と普遍的な本質
-